

## 9-3

## 小林有也と明治の大修理

松本中学校長小林有也は本丸庭園が松本中学校の運動場となることに決まると敢然として傾いた天守保存に立ち上がりました。明治34年「松本城天守（閣）保存会」を作り明治36年から工事にとりかかり大正2年に明治の大修理を竣工させました。今回はその功労者小林有也についてお尋ねします。

- 1 小林有也は和泉の国の小藩の家老の家に生まれました。藩名は伯太藩といひます。藩名に読み仮名をつけてください。伯太藩 はかた・はん  
1万3千石 陣屋は和泉国泉北郡伯太村 譜代小藩 大坂玉造口定番

- 2 明治3年(1870)16歳の小林は藩から選ばれ、<sup>こうしんせい</sup>貢進生として大学南校(東京大学の前身)に入ります。ここで彼が学ばなかった学科は何でしょう。

①**建築学** 物理学はフランス語によって勉強した。我が国最初の物理学専攻の理学士19名中の一人、明治14年勤めのかたわら、当時の「東京物理学講習所」(東京物理学学校)で物理学教授の任にあたっていた。

- 3 明治13年小林有也は東京大学を25歳で理学士となって卒業し、中央官庁に勤めました。それはどこでしょう。

③**農商務省** 農商務省工務局調査課・統計課・勸工課に勤務。

- 4 明治17年、中学校教則取調委員となって長野県に赴任し、長野県中学校を長野に誕生させ校長となりました。明治19年長野県尋常中学校が松本に置かれると校長として赴任し29年間在職しました。その間、野球を松本地方に普及したことで知られています。写真は松本中学校主催「小学校連合野球大会優勝杯」ですが現在どこに展示されているでしょう。

④**重文開智学校** 高さ約80cmの陶器の大花瓶。これは大正2年の松本中学校主催「小学校連合野球大会優勝杯」。このとき優勝した松本尋常小学校に贈られたもの。長い間、清水小学校校長室に飾られていたが、現在重文開智学校に展示されている。

- 5 明治34年小林有也は翌年から松本の町長となる人物とともに「松本城天守（閣）保存会」を発足させ明治の大修理を始めますが、その人物とは誰でしょう。

①**小里頼永**<sup>よりなが</sup> 明治35年7月松本町長となる。明治40年より市長。

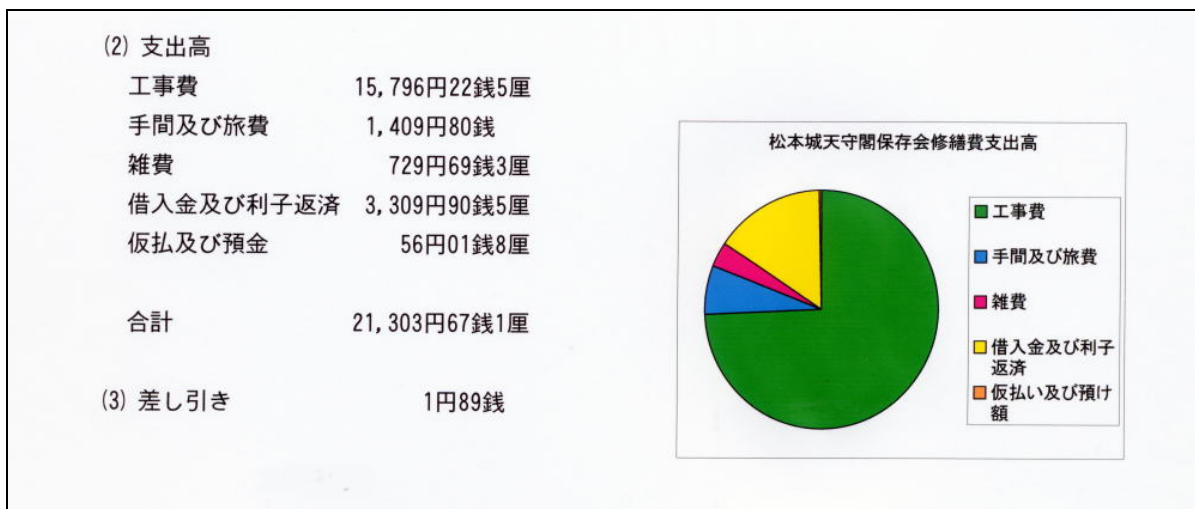
明治22年 町村制実施により松本町が生まれた。町長 **菅谷司馬** (～明治30年6月) **牧野岸治** (明治30年7月～明治35年6月)

小里頼永 (明治35年7月～明治40年6月町長 明治40年7月～昭和12年8月市長)

6 明治の大修理の費用は小林有也の奮闘によって集められた寄付金等によって賄われました。この工事総額はいくらだったでしょう。

③ 21,303円余

21303円67銭1厘が支出額である。



※総収入は 21,305円56銭1厘

7 「松本城下町模型」は現在この模型はどこに行けば見られるでしょう。

④松本市立博物館

8 小林有也の墓(写真)は松本市のどこにあるでしょう。

①竜興寺 (松本市中央3-9-10)

源智の井戸から東へ大橋通りを越えてさらに東へ左手に寺院が見えてくる。墓は竜興寺本堂北側奥にある。



9 明治の大修理で行われなかった工事が1つありますそれはどれでしょう。

④土台支持柱を部分的に取りかえた。

(土台支持柱を鉄筋に取り換えたのは昭和の修理のときである。)

10 松本市は松本城天守保存の功労者、市川量造と小林有也を顕彰するめ黒門北側にレリーフ(上条俊介作)を作りました。この顕彰レリーフは昭和何年に作られましたか。

③昭和34年

昭和34年6月16日序幕式

